

公益財団法人自然保護助成基金
理事長 有賀 祐勝 様

年 月 日

第 28 期（2017 年度）プロ・ナトゥーラ・ファンド助成 特定テーマ助成申請書

下記の通り、プロ・ナトゥーラ・ファンド助成の特定テーマ助成「シカ問題の解決に向けた実践的な活動ならびに研究」を申し込みます。

1. タイトル

〇〇山における、地域と連携したシカ対策の検討

タイトルは内容を簡潔に表現したものにして下さい。

2. 申請団体

団体名	〇〇山シカ対策協議会		
フリガナ	シゼン タロウ	生年 月日	
申請代表者 氏名	自然 太郎	[年齢]	
所属機関 ・役職	〇〇自治協議会、会長		
住所	〒 自宅か職場（または学校）の住所をお書きください。 どちらかお選びください↓ (○自宅・職場)		
電話	自宅・職場：連絡のつきやすい方の番号をお書きください	携帯電話：	
e-mail	連絡は主にe-mailを用いますので連絡のつくアドレスをお知らせ下さい。	URL	団体のサイトがある場合はURLをお書き下さい。

プロジェクトを行うグループの名前をお書きください。法人名である必要はありません。

3. テーマの種類（いずれか一つ選択してください）

- 活動
 研究

4. プロジェクトの目的（200 字程度）

本申請プロジェクトにおける、最終的なゴールを明確にお書きください。どのような自然を守るために、本プロジェクトを行うのか、意図を明確にお書きください。

近年、〇〇山の高山帯において、ニホンジカの出没と食害が頻繁に確認されるようになった。本プロジェクトでは、本来生息していた高山植物群落を保護していくため、これまでのモニタリングデータや、高山植物の分布データを活かし、地域住民や登山者向けの普及啓発活動を行い、地域住民と協働してニホンジカの効率的な管理計画について検討していく。

- 本助成の上限金額は1年間で100万円です。2年間のプロジェクトを申請される場合は、2年分の費用を合算してお書きください。
- 支出計画書の金額と相違がないようご注意ください。
- 千円の位を四捨五入してください。
- 本助成プログラムでは複数の助成金を使って実施するプロジェクトには助成いたしません。

5. 助成申請額

200 万円

この申請書は、プロ・ナトゥーラ・ファンド助成の審査にのみ使用し、その他の目的では使用いたしません。公益財団法人自然保護助成基金個人情報保護に関する基本方針にのっとり、適切に取り扱いたします。

プロジェクト計画書（1）

1. プロジェクト課題の自然保護上の重要性と緊急性

(1) 本プロジェクトにおける自然保護上の重要性および緊急性について、要点を200字程度で枠内にお書きください。

〇〇山の高山帯では、近年ニホンジカの出没頻度が増加し、高山植物への食圧が高まっている。このまま適切な対策が取られない場合、お花畑が消失し、裸地化する可能性がある。……

文字のフォントを大きくしたり、太字にしたりして、内容が一目で明確にわかるように、適宜工夫してください。

(2) 対象地域の特徴およびシカ被害の状況についてお書きください。

対象地域の自然環境の特徴、ならびに活動地域の範囲についてお書きください。

対象地域は、〇〇山の標高xxメートル地点である。
◇◇や◆◆といった高山植物の生息地であるが、
写真のような食害が認められている。…

地図

自然環境への被害がわかる写真などがあれば、貼り付けてください。

写真

※注意※

- フォントサイズは10ポイント以上でお書きください。
- 枠の位置の変更はしないでください。また、ページ数を増やすことはできません。
- 写真や図の挿入は可能ですが、モノクロ印刷で審査に付されるため、モノクロでも見分けの付く範囲内をお願いします。

(3) 対象地域において、これまでどのような調査・研究がなされてきたのか、そしてどのようなことがわかっているのか、具体的にお書きください。

対象地域におけるシカの被害や自然環境の変化に関してこれまで行われてきた調査・研究や活動についてお書きください。また、これまでの調査・研究でまだわかっていないこと、本プロジェクトにおいて重点的に考慮すべきことがあれば、お書きください。

プロジェクト計画書（2）

2. 研究計画

1) 本プロジェクトの具体的な到達目標についてお書きください（箇条書きでも可）。

【1年目】：地域住民への普及啓発

- ・2017年12月までモニタリングデータのまとめを行い，説明資料を作成する。
- ・2018年3月に第1回普及啓発セミナーを行なう。目標参加者人数はxx人。
- ・2018年7月・・・

いつまでに何を達成するのか，具体的にお書きください。

【2年目】：地域住民と連携した効果的なシカ対策

- ・2018年10月・・・

2年間のプロジェクトの場合は，1年目と2年目の到達目標を分けてお書きください。
1年目と2年目の全体的な目標もお書きください。

2) どのように上記の目標を達成していくのかについて，お書きください。

3) 予算計画について，特記すべき点があれば，お書きください。一つの費目への比重が大きい場合などは，説明してください。

4) プロジェクトグループの構成メンバーの専門性などについて，特記すべき点があれば，お書きください。

協議会のメンバーには，シカの生態に詳しいABC大学の●●教授が含まれており，アドバイスをいただきながら効果的な管理計画を策定する。・・・

このページでは，字数制限はありません。設問ごとに回答の長さを変えても構いません。どうしても書ききれない場合は，ただし，ページ数は増やさないでください。

プロジェクト計画書 (3)

こちら、フォントや文字の大きさを工夫して、見やすくなるようにしてください。

3. 期待される成果

本プロジェクトの期待される成果を、100字程度で簡潔にお書きください。

多数の登山客が訪れる〇〇山は、観光資源として地域の経済を支えているため、地域住民が〇〇山の現状を理解することで、シカの適正管理や高山植物の保護に積極的に加わっていくことが期待される。

成果を、今後の地域の自然保護にどのように活かしていくのか、具体的にお書きください。

今後、プロジェクトをどのように展開させていくのか、それによってどのように地域の自然が保護されていくのか、具体的にお書きください。

とりまとめたデータは、今後学校教育にも活用し・・・に役立てる。・・・

年間スケジュール(1)

時期	内容とその詳細	助成金 支出概算
17年10月	データの整理・とりまとめ	
11月		
12月	普及啓発セミナーの準備	印刷費 50,000円 資料代 10,000円
18年1月		
2月		
3月	第1回普及・啓発セミナー	会場費 10,000円
【1年間プロジェクト】中間報告書の提出		
4月		
5月		
6月		
7月		
8月		
9月	【1年間プロジェクト】プロジェクトの終了 【2年間プロジェクト】中間報告書の提出	
11月～12月	【1年間プロジェクト】助成成果発表会	成果発表会出席経費

月をまたいで作業を行う場合は、↓でお示し下さい。
行の高さは変更して構いませんが、ページは増やさないでください。

支出費目と金額をお書きください。

1年間のプロジェクトの方はこちらに出席経費を記入してください。

年間スケジュール(2)

時期	内容とその詳細	助成金 支出概算
19年1月		
2月		
3月		
4月		
5月		
6月		
7月		
8月		
9月	【2年間プロジェクト】プロジェクトの終了	
10月	【2年間プロジェクト】最終報告書の提出	
12月	<p style="text-align: center;">【2年間プロジェクト】助成成果発表会</p> <p>成果発表会はプロジェクトの終了年にのみご参加ください。</p>	<p>成果発表会出席経費 20,000円</p>

支出概算の合計が申請金額と同じになるようにしてください。

グループの構成員

氏名	所属	役職	分担*
自然太郎	〇〇自治協議会	会長	責任者（申請者）
●● ●●	ABC大学	申請者がその任を負えなくなったときに、このプロジェクト遂行の責任を負っていただける方を副責任者として下さい。	副責任者
●● ●●	NPO法人〇〇山愛好会		会計責任者
●● ●●

*プロジェクトの上で担当する役割を記入。（責任者、副責任者、会計責任者を必ず決めて下さい。）

これまでの研究実績・発表実績

申請代表者の略歴（過去を含めた所属先や最終学歴など）をお書きください。

XXXX年 自然大学大学院生物学研究科自然環境学専攻 博士後期課程修了（理学博士）

本申請に関連する、代表的かつアクセス可能な研究実績・発表実績3件をお書きください。（申請代表者以外のプロジェクトメンバーのものでも可）

a) 様式（論文の場合）：著者（発表年）、論文タイトル、雑誌名、巻（号）：初めのページ数-終りのページ数。
様式（書籍の場合）：著者（出版年）、タイトル、出版社、ページ数。

b) 様式（学会・シンポジウム等の発表）：発表者、「題目」、発表した学会名、論文等の番号、場所、発表年月日

c)

必ずしも申請代表者の実績である必要はありませんが、本申請の内容に関連するものに限りま

助成金申請状況

1. 現在、同様のテーマで他財団や公的機関の助成金を申請していますか。

機関名	テーマ	金額(万円)

2. 現在、第28期プロ・ナトゥーラ・ファンド助成の別の申請に、構成メンバーとして参加していますか。

カテゴリー名	タイトル

申請代表者は、他の申請プロジェクトにおいて申請代表者になることはできません。また、本申請グループが別のテーマで複数応募することもご遠慮ください。

アンケート

(アンケートの記述のない申請書は受け付けません。記述内容は選考に影響しません)

I 申請者の本助成への応募は何回目ですか。

初めて ・ 2回目 ・ 3回目 ・ 4回目以上

II 過去に、申請者は本助成の助成金を得たことはありますか。ある場合は回数をお書き下さい。

ない ・ 1回 ・ 2回 ・ 3回 ・ 4回以上

III 今回の助成の詳細は、何で知りましたか。

当財団のWebページ/Facebook ・ 助成金情報サイト ・ メーリングリスト
チラシ ・ 友人/知人から ・ その他 ()

IV 募集要項について、気になった点、わかりにくかった点があればお書き下さい。

--

V 本助成で、改善した方が良くと思われる事柄があればお書き下さい。

--

VI 本助成で、今後新たに取り組むと良くと思われる事柄があれば、お書き下さい。

--

支出計画書(1)_1年目

プロジェクト名:

助成申請額(1年目)

¥1,000,000

自動的に算出されますので記入しないでください。
申請書の申請金額と相違がないようご確認ください。

団体:

代表者:

会計責任者:

支出計画

(別紙「助成金費目一覧表」を参照)

費目	内訳	単価	数量	小計
a.器具・備品費	センサーカメラ	¥50,000	10	¥500,000
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥500,000
b.消耗品費	文房具一式(ノート, ペン, ...)	¥500	100	¥50,000
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥50,000
c.委託費	調査分析委託	¥100,000	1	¥100,000
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥100,000
d.賃金・謝金	データ整理補助スタッフ	¥8,000	20	¥160,000
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥160,000
e.旅費	現地調査旅費 (* * * ⇄ * * * 往復, 宿泊費込)	¥10,000	10	¥100,000
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥100,000
f.交通・通信・運搬費	調査機材送料	¥5,000	2	¥10,000
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥10,000

- ・「費目一覧」をよくご確認ください。
- ・行が不足する場合は行を追加してください。
- ・なお、複数行追加によりページに収まらない場合は、他の費目の行を一部削除してください。

支出計画書(2)_1年目

費 目	内 容	単 価	数 量	金 額(円)
g.図書・資料費	図書資料	¥5,000	2	¥10,000
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥10,000
h.印刷費	チラシ印刷費(¥1000/100枚) パンフレット印刷費(¥10000/100部)	¥1,000 ¥10,000	10 5	¥10,000
				¥50,000
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥60,000
i.会議費	会議室使用料	¥10,000	1	¥10,000
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥10,000
j.借用費				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥0
k.雑経費				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥0
助成申請額合計				¥1,000,000

※1年目と2年目の合計助成申請額が200万円を超えないようにご注意ください。

支出計画書書(3)_2年目

プロジェクト名:

助成申請額(2年目)

¥1,000,000 円

団体:

代表者:

会計責任者:

支出計画

(別紙「助成金費目一覧表」を参照)

費 目	内 訳	単 価	数 量	小 計
a.器具・備品費	センサーカメラ	¥50,000	10	¥500,000
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥500,000
b.消耗品費				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥0
c.委託費				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥0
d.賃金・謝金	会議運営スタッフ	¥8,000	20	¥160,000
	勉強会講師謝金	¥10,000	2	¥20,000
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥180,000
e.旅費	現地調査旅費 (* * * ⇄ * * * 往復, 宿泊費込)	¥10,000	10	¥100,000
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥100,000
f.交通・通信・運搬費				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥0

支出計画書(4)_2年目

費 目	内 容	単 価	数 量	金 額(円)
g.図書・資料費				¥0
(合計)				¥0
h.印刷費	勉強会資料印刷委	¥100	1000	¥100,000
(合計)				¥100,000
i.会議費	会議室使用料	¥10,000	5	¥50,000
(合計)				¥50,000
j.借用費				¥0
(合計)				¥0
k.雑経費	山岳保険(1年)	¥10,000	5	¥50,000
(合計)				¥50,000
l.助成成果発表会出席経費	●● ⇄ 東京 (往復)	¥20,000	1	¥20,000
(合計)				¥20,000
助成申請額合計				¥1,000,000

助成成果発表会には必ずご出席ください。そのための旅費は必ずこちらに計上してください。なお、発表者1名分のみ計上してください。